

**⑧救急医療体制(医療施設までの搬送時間短縮)を支援します。**

新名神の沿線地域における三次救急医療は、大津市および栗東市に依存しています。特に甲賀地域<sup>注1</sup>の管外搬送率が高いことから、搬送時間の短縮や安全性の確保が課題となっております。

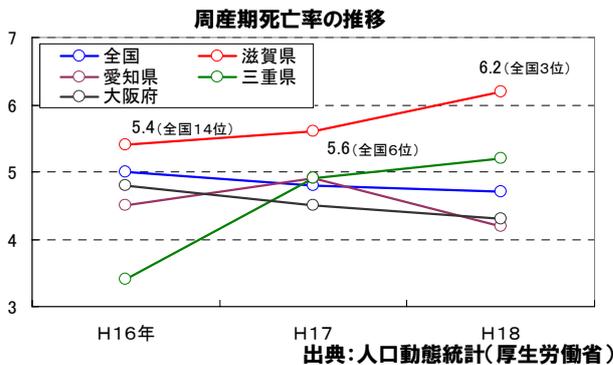
例えば、甲賀市から大津市にある医療施設まで、現在では60分かかりますが、開通後は約30分<sup>注2</sup>で行けるようになります。

新名神の開通は、搬送時間が短縮され救命率の向上をもたらし、地域の人々の安全・安心な生活に寄与します。



滋賀県では、周産期に発生する死亡率が全国比より高いことから、総合的な医療による母子の健康を守る周産期医療体制を確立しています。  
(滋賀県の出生1千対当たりの  
周産期死亡率 6.2 < 全国 4.7 >)

しかし、高度な周産期医療は大津市に依存していることから、新名神の開通によって、滋賀県の周産期医療体制を支援します。



- ・周産期:妊娠満22週から生後満7日未満までの期間。
- ・周産期医療:周産期を含めた前後の期間における突発的な緊急事態に備えて産科・小児科双方からの一貫した総合的な医療体制を指す。

MFICU:母体・胎児集中治療管理室  
NICU:新生児集中治療管理室  
出典:滋賀県